

目の前の子どもたちに 一生懸命!



枚方市立 牧野小学校
にしむら さおり
教諭 西村 早織さん

この一年間のたくさんの経験の中で、自分自身も学び、成長することができたと感じます。楽しいことや嬉しいことだけでなく、児童への指示が思うように伝わらず、頭を悩ませることも多々ありました。そんな時、先輩教諭から「1年目は失敗を恐れずに。」と声を掛けられ、目の前の子どもたちのために私ができることをしようと思えてから、子どもたちのことを一番考えての行動を心がけています。小学校教諭は、全ての教科を担当するため、子どもの成長に一番近くで関わることができる職業です。

受験勉強は大変だと思いますが、子どもたちの素敵な笑顔と大きな感動、充実した毎日は、それを乗り越えるだけの価値があります。是非一緒に働きましょう!

笑顔になれる 支援学校



大阪府立 和泉支援学校
おくの こひき
教諭 奥野 こひきさん

着任当初の4月は不安な気持ちでいっぱいでしたが、1年が経った今は「支援学校の教員になって本当によかった!!」と思う毎日です。授業づくりはもちろん、生徒たちや保護者の方々との関わり方といったことに悩むこともありますが、先輩教員や子どもたちからたくさんの学びを得ながら、がんばっています。それまで私のことを「せんせい」と呼ばなかった子どもに初めて「せんせい!!」と呼ばれたときはすごく嬉しく、やりがいを感じた瞬間でした。

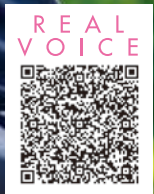
チームとなって子どもたちを支える支援学校では教職員同士で話す機会が多くあり、たくさんのコミュニケーションがとれて楽しいです。とにかく子どもたちがかわいくて笑顔になれる支援学校で、一緒に楽しく働きましょう。



子どもが好き。
だから、
頑張れる。

REAL VOICE

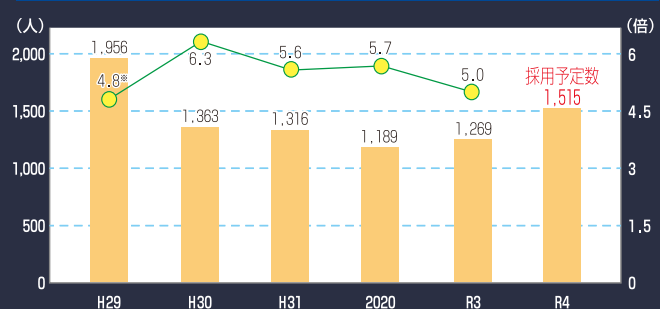
先輩からのメッセージ



令和3年度 校種等別志願者数・受験者数・合格者数

校種等	志願者数(人)	受験者数(人)	最終合格者数(人)	倍率(倍)
小学校	1,936	1,706	489	3.5
小中いきいき連携	83	74	32	2.3
中学校	1,965	1,756	350	5.0
高等学校	1,974	1,686	205	8.2
支援学校(幼稚園・小・中・高)	301	275	80	3.4
支援学校(中学部)	181	155	31	5.0
支援学校(高等部)	252	227	46	4.9
支援学校(自立活動)	1	1	0	-
養護教諭	473	400	25	16.0
栄養教諭	118	92	11	8.4
合計	7,284	6,372	1,269	5.0

合格者数(全校種合計)と倍率の推移



生徒の成長が自分の エネルギー



吹田市立 豊津中学校
いのうえ いちろう
教諭 井上 一郎さん

「生徒の心の支えになる!」授業づくりなどまだまだ未熟な点がありますが、子どもたちの心の支えになることができるこの仕事にやりがいを感じています。毎日全力で生活している子どもたちを指導し、失敗や改善点について話し合う場を設け、子どもたちが成長していく姿を日々見ることができ、このような仕事の環境にとってもやりがいを感じています。また、先輩の教員に日々話をきいてもらえるのでとても働きやすい環境です。これから子どもたちを全力でサポートし、可能性を引き出すことのできる教員でありつづけるために日々努力していきます。教員は子どもたちの心の支えになることができる魅力ある仕事です。是非、大阪府と一緒に働きましょう。待っています。

子どもたちを見守り共に 成長していきたい!



松原市立 松原北小学校
たけだ みさき
養護教諭 武田 美咲さん

今年度は、休業期間から始まり、期待よりも不安がはるかに大きいスタートでした。しかし、休業期間中に、子どもたちを迎える準備や、先生たちとの関係作りができ、結果としては少し余裕を持って、2か月遅れの新学期を迎えることができました。始まってしまうと、毎日が忙しく過ぎ、気づかないうちに疲れが溜まっている時期もありました。そんな時、初任者研修で同期の先生たちに会って、同じようなことで悩んでいる姿に、正直ほっとしました。

校内で唯一の養護教諭であるため、自分の判断がこれでよかったのかな?と迷うこともたくさんありますが、管理職や教職員など助けてくれる人はたくさんいます。子どもたちの安心安全のために一緒に頑張りましょう!

『生徒の成長』それが 私の原動力



大阪府立 和泉総合高等学校
はないち まさひろ
教諭 花市 奏真さん

生徒の成長には日々驚かされます。はじめは授業をただ聞いているだけだった生徒が、今では積極的に授業に参加して主体的に課題に取り組む姿勢が見られるようになりました。また、関心がないように感じられた理科の実験にも、回数を重ねるにつれ時間が経つのを忘れるくらい熱心に参加しています。「先生!早く次の実験しよう!」と生徒から声をかけられたあの瞬間、生徒の成長を実感しました。生徒の成長に大きく関わっていることが今の私の原動力です。経験豊富な教職員のサポートもあり、経験の少ない私も毎日元気に生徒と関わることができ、生徒の新たな一面を見ることで生徒からも元気をもらっています。大阪府の教員として、やりがいを感じる日々を共に過ごしましょう!

食と子どもに関われる 喜び



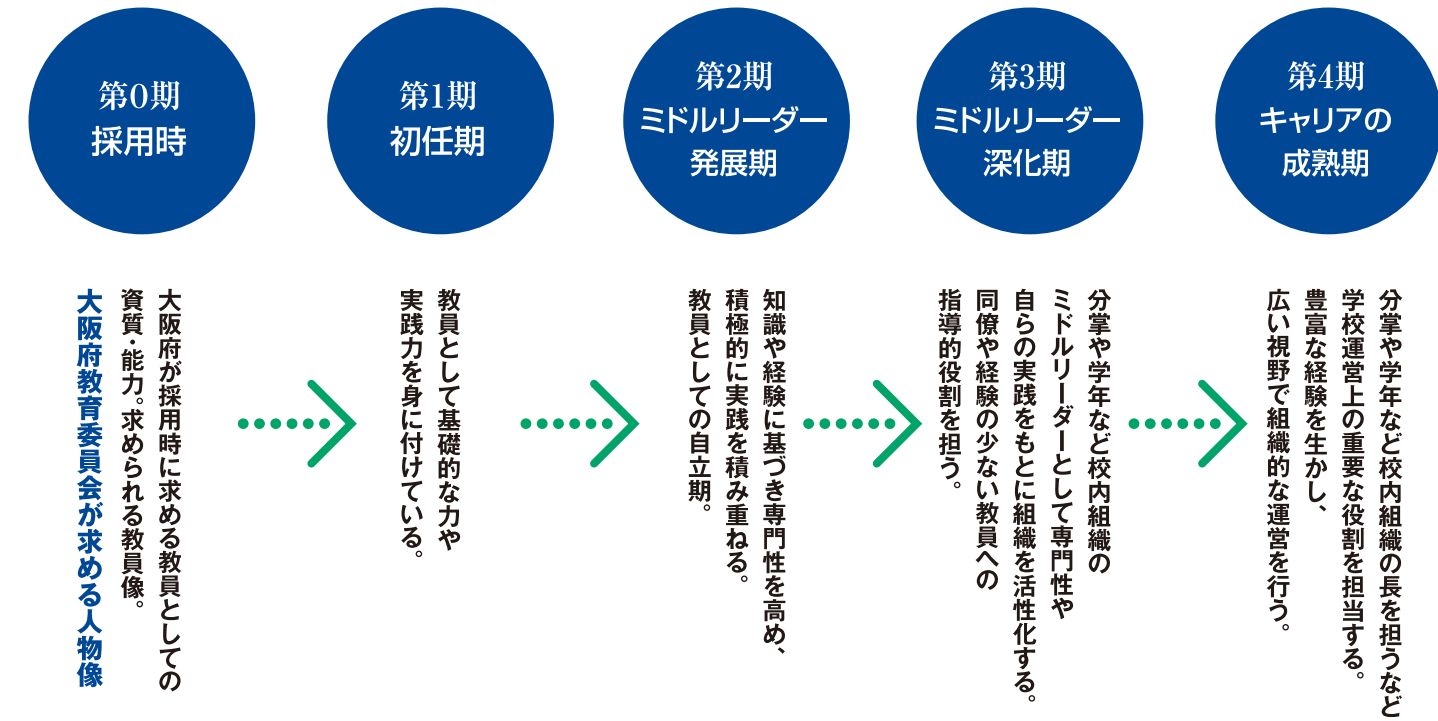
茨木市立 玉櫛小学校
あかし りょうた
栄養教諭 城 翔太さん

子どもたちと多く関わる栄養教諭であること、私が日々心にかけていることです。栄養教諭は、担任を持つわけではないので、子どもと関わる機会が少ないです。しかし、栄養教諭になったからには、子どもたちが食の面で成長する手助けをしたいです。子どもと関わる機会が少ないままでは成長の手助けはできないと思い、休み時間は子どもと遊んだり、食器を返しに来た時に話したりして、児童と積極的に関わろうにしています。

最近では、子どもたちから給食の感想や感謝を伝えてくれるようになり、少しずつですが成長の手助けができていますと実感しています。そして子どもと一緒に自分も成長していると感じます。子どもと一緒に自分も成長できるこの仕事はとても楽しいですよ。

キャリアステージに応じた資質・能力の向上

「OSAKA教職スタンダード」は、共通に求められる資質・能力を、教員等の経験や適性、職責に応じて「第0期」から「第4期」までの5段階のキャリアステージに分けて整理しています。大阪府では「OSAKA教職スタンダード」に基づいて、教職のキャリアステージに応じた研修体系を設け、学び続ける教員を支援しています。



子どもと一緒にレベルアップ

学級担任として1日のうちの長い時間を学級で過ごしています。学級の中では様々なことが起こります。楽しいことや感動すること、時には苦労することもあります。また、予想できないようなことも起こります。しかし、長い時間を共に過ごすことでたくさんの成長を見ることが出来ます。運動会や音楽会で一生懸命頑張る姿、苦手なことにも前向きにチャレンジする姿、行事を通して自信をつけていく姿、子どもたち同士で助け合う姿。その一瞬一瞬に立ち会えたときに教員としてやりがいを感じます。これらの成長を間近で見ることが自分自身の成長にもつながります。子どもたちの変化や成長をやさしく見守り、温かく応援できる教員でありたいと思います。



岸和田市立 八木小学校
かなた ちはる
教諭 金田 千晴さん

いつまでもやりがいを抱ける仕事

初任者として初めて教壇に立ってから9年目になります。今はミドルリーダーとして首席を務めています。首席とは、一般の教職員と管理職をつなぐ要と位置付けられる役職です。「学校をよくしていくためにやってみないか」と校長先生にお誘いいただき、チャレンジしました。私は、授業担当、担任、部顧問として、生徒個人と向き合っていくことにこれ以上ないくらいやりがいを感じていますが、それと同じくらい、千人近くの生徒のために学校全体のことについて考えていく首席という仕事にもやりがいを感じています。これまで経験して分かったことは、根本に「子どもたちのために」という思いがあればいつまでもやりがいを抱き続けられる仕事、それが教職だということです。



大阪府立 千里高等学校
ほんま なおや
首席 本間 直也さん

支え合い協働できる学校をめざして

教諭として、教科指導と生徒指導、そして部活動に全力投球した日々を過ごしました。そして今は教頭の職務に就いています。教頭時代は子どもと心を通わせることができる対話にやりがいを感じる日々でした。教頭になってからは、教職員とともに悩み考え、時には判断し答えを導きだすことにやりがいを感じています。両方に共通することは、子どもたちのために真正面から素直にぶつかること、また語り合えることです。その上で教職員が一つになるため、個を大切にし協働性を忘れることなく前を向くことがとても大事です。多様な考え方や感じ方を大切にしながら、一つのチームを作り上げていく過程に関わっていることに幸せを感じながら日々職員室に向かっています。



交野市立 第三中学校
しげもと まさひろ
教頭 重本 匡陽さん

「経験」と「出会い」が今に繋がっています。

教員になったばかりの頃は、日々乗り越えるのが精一杯。失敗や反省の連続でした。30代、40代の頃に、国際交流委員長や学年主任など、組織の主だった役割を担う機会があったこと、また、時には一保護者として「教育」を考えたことが経験となり、今に繋がっています。自信がなくて常に前向きにチャレンジしてきたことが、多くの「学び」や「出会い」となりました。今は校長職に就いています。あらゆることが予測困難な中、感染対策や心のケア、行事の見直しなど、教職員とともに丁寧に進めています。制約のある中において、どうすれば国際交流や地域連携が進められるのか、生徒たちのために学校が活性化する方法を考えることにやりがいを感じています。



大阪府立 旭高等学校
もりた りえこ
校長 森田 里江子さん